

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第6部門第4区分  
 【発行日】平成20年5月29日(2008.5.29)

【公開番号】特開2002-237139(P2002-237139A)

【公開日】平成14年8月23日(2002.8.23)

【出願番号】特願2001-5827(P2001-5827)

【国際特許分類】

G 1 1 B 20/12 (2006.01)

G 0 6 F 12/00 (2006.01)

G 1 1 B 27/00 (2006.01)

【F I】

G 1 1 B 20/12

G 0 6 F 12/00 5 2 0 J

G 0 6 F 12/00 5 3 1 M

G 1 1 B 27/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成20年4月15日(2008.4.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】データ記録装置、データ再生装置、データ記録方法、データ再生方法、データ記録再生装置

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

AVデータおよび該AVデータを再生するための再生情報が格納された、複数のデータブロックより構成されるファイルを、記録媒体に記録するデータ記録装置において、

上記ファイルにおける、少なくとも1つ以上の上記データブロックの先頭位置を示す第1の情報を、上記記録媒体に記録される上記ファイルに格納することを特徴とする、データ記録装置。

【請求項2】

上記第1の情報のデータサイズは、可変であることを特徴とする、請求項1に記載のデータ記録装置。

【請求項3】

上記第1の情報のデータサイズは、固定であることを特徴とする、請求項1に記載のデータ記録装置。

【請求項4】

AVデータおよび該AVデータを再生するための再生情報が格納された、複数のデータブロックより構成されるファイルより、上記AVデータおよび上記再生情報を読み出し、上記AVデータを再生するデータ再生装置において、

上記ファイルには、上記ファイルにおける、少なくとも1つ以上の上記データブロックの先頭位置を示す第1の情報が格納されており、

上記ファイルより上記第 1 の情報を取得し、取得した上記第 1 の情報に基づいて、上記 A V データおよび上記再生情報を読み出すことを特徴とする、データ再生装置。

**【請求項 5】**

上記第 1 の情報のデータサイズは、可変であることを特徴とする、請求項 4 に記載のデータ再生装置。

**【請求項 6】**

上記第 1 の情報のデータサイズは、固定であることを特徴とする、請求項 4 に記載のデータ再生装置。

**【請求項 7】**

A V データおよび該 A V データを再生するための再生情報が格納された、複数のデータブロックより構成されるファイルを、記録媒体に記録するデータ記録方法において、

上記ファイルにおける、少なくとも 1 つ以上の上記データブロックの先頭位置を示す第 1 の情報を、上記記録媒体に記録される上記ファイルに格納するステップを備えたことを特徴とする、データ記録方法。

**【請求項 8】**

A V データおよび該 A V データを再生するための再生情報が格納された、複数のデータブロックより構成されるファイルより、上記 A V データおよび上記再生情報を読み出し、上記 A V データを再生するデータ再生方法において、

上記ファイルには、上記ファイルにおける、少なくとも 1 つ以上の上記データブロックの先頭位置を示す第 1 の情報が格納されており、

上記ファイルより上記第 1 の情報を取得する取得ステップと、

上記取得ステップにおいて取得した上記第 1 の情報に基づいて、上記 A V データおよび上記再生情報を読み出す読み出しステップと、を備えたことを特徴とする、データ再生方法

。

**【請求項 9】**

データ及び該データのサイズや個数、種類を含む管理情報からなるデータブロック単位で、各種データが登録されたファイルを記録媒体に記録する記録手段と、前記データブロック中の管理情報内のデータサイズに基づき、後続するデータブロックの先頭位置を得て、後続するデータブロックを読み出す再生手段と、前記再生手段により読み出されたデータブロック中の管理情報内のデータ種類に基づき、ファイル内のデータブロックを検索する通常検索手段とを備えたデータ記録再生装置において、前記ファイル内の任意の基準位置から該ファイル内に含まれるいくつかのデータブロックの先頭位置へのオフセット値が登録されたオフセットデータブロックをファイルの任意の位置に登録したことを特徴とするデータ記録再生装置。

**【請求項 10】**

前記請求項 9 に記載のデータ記録再生装置において、前記オフセットデータブロックのサイズが固定長であることを特徴とするデータ記録再生装置。

**【請求項 11】**

前記請求項 9 に記載のデータ記録再生装置において、前記オフセットデータブロックのサイズが可変長であることを特徴とするデータ記録再生装置。

**【請求項 12】**

前記請求項 9 乃至 11 のいずれかに記載のデータ記録再生装置において、前記データブロックは、AV データが登録されているデータブロックと、その AV データのデータブロックの記録・再生の形態を管理する管理情報が登録されているデータブロックとを含むことを特徴とするデータ記録再生装置。

**【請求項 13】**

前記請求項 12 に記載のデータ記録再生装置において、前記 AV データの管理情報が登録されているデータブロックのコピーを、バックアップとしてファイル内に登録するとともに、ファイル内の任意の基準位置からこの管理情報のバックアップのデータブロックへのオフセット値を前記オフセットデータブロックへ登録することを特徴とするデータ記録再

生装置。

【請求項 14】

前記請求項 9 乃至 13 のいずれかに記載のデータ記録再生装置において、前記再生手段により読み出された再生データの異常を検出する異常検出手段と、前記異常検出手段により再生データの異常が検出された時、前記オフセットデータブロックに登録されたオフセット値に基づき、任意のデータブロックを検索する異常時検索手段とを備えたことを特徴とするデータ記録再生装置。

【請求項 15】

前記請求項 14 に記載のデータ記録再生装置において、前記異常時検索手段は、前記異常検出手段によりAVデータの管理情報が登録されているオリジナルのデータブロックに異常が検出された時、前記オフセットデータブロックに登録されたオフセット値に基づき、該AVデータの管理情報が登録されているバックアップのデータブロックを検索し、この管理情報のバックアップのデータブロックに基づいて、AVデータを再生することを特徴とするデータ記録再生装置。

【請求項 16】

前記請求項 15 に記載のデータ記録再生装置において、前記AVデータの管理情報が登録されているバックアップのデータブロックを用いて、前記異常が検出されたAVデータの管理情報が登録されているオリジナルのデータブロックを復旧させることを特徴とするデータ記録再生装置。

【請求項 17】

前記請求項 14 乃至 16 のいずれかに記載のデータ記録再生装置において、前記異常時検索手段は、前記異常検出手段によりデータブロックの管理情報に異常が検出された時、前記オフセットデータブロックに登録されたオフセット値を用いて、前記異常が検出されたデータブロックの管理情報を復旧させることを特徴とするデータ記録再生装置。

【請求項 18】

データ及び該データのサイズや個数、種類を含む管理情報からなるデータブロック単位で、各種データが登録されたファイルを記録媒体に記録する記録手段と、前記データブロック中の管理情報内のデータサイズに基づき、後続するデータブロックの先頭位置を得て、後続するデータブロックを読み出す再生手段と、前記再生手段により読み出されたデータブロック中の管理情報内のデータ種類に基づき、ファイル内のデータブロックを検索する通常検索手段とを備えたデータ記録再生装置において、前記ファイル外に存在するデータの所在が登録された外部参照データブロックをファイルの任意の位置に登録したことを特徴とするデータ記録再生装置。

【請求項 19】

前記請求項 18 に記載のデータ記録再生装置において、前記データブロックは、AVデータが登録されているデータブロックと、そのAVデータのデータブロックの記録・再生の形態を管理する管理情報が登録されているデータブロックとを含むことを特徴とするデータ記録再生装置。

【請求項 20】

前記請求項 19 に記載のデータ記録再生装置において、前記AVデータの管理情報が登録されているデータブロックのコピーを、バックアップとしてファイル外に登録するとともに、この管理情報のバックアップのデータブロックの所在を前記外部参照データブロックへ登録することを特徴とするデータ記録再生装置。